

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年9月9日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年9月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機計装用空気系圧縮機(A)の予備機自動起動について】 当直員が、5・6号機中央制御室にて、6号機計装用空気系圧縮機(A)の予備機が自動起動したことを知らせる警報が発生したため、当該圧縮機の圧力を確認したところ、予備機の自動起動の設定値である0.65MPaを下回る0.63MPaであった。 本来、当該圧縮機は0.67MPaから0.73MPaになるよう加圧運転の開始/停止が設定されているが、加圧運転が開始される設定値0.67MPaを下回っても加圧運転がされず、圧力低下が継続したことで0.63Mpaで予備機が自動起動した。 予備機が自動起動したことで圧力が回復し、警報が解除され、予備機が停止したことを確認。 予備機が自動起動する前に加圧運転が開始されなかった原因調査のため、当該圧縮機の計器、圧カスイッチの点検をしたが、異常が確認されなかった。 また、その後の試運転においても異常のないことを確認したことから、一過性のものと判断し、監視を強化することとした。 今後、監視した結果をもとに原因の調査、および状況に応じた対策を検討。</p>	GⅢ	9月5日